



長岡第五小学校区地域コミュニティ協議会 075-748-9620

コミュニティ協議会では、令和元年度から従来のコーディネーター制度から、自主運営に切り替え、3部会が中心となって各種の活動を実施してきました。しかし、前年度の後半に発生した「新型コロナウイルス」により、活動の一部を自粛せざるをえなくなりました。令和2年度の活動について、各部会で活動計画を検討し、活性化がより図れますよう頑張っていきます。ご理解・ご協力よろしくお願いたします。

令和元年度報告 (主なもの)

令和2年度計画 (主なもの)

コミュニティ協議会本部

4月1日	コミュニティ協議会自主運営開始
4月19日	学校給食試食 (たけのこ寿し)
5月15日	第1回理事会
5月21日	令和元年度総会
7月27日	第16回長五校区夏まつり (協力事業)
9月21日	長五小一斉清掃・除草作業参加
10月27日	長五小校区総合防災訓練
11月中	青推協「こども・若者育成支援協調月間」旗掲出
11月23日	第31回長五校区友好祭 (協力事業)
3月下旬	理事会・幹事会、新型コロナのため文書で開催
年間	コミュニティニュース (4回発行)
年間	子どもの交通事故防止推進 (年3回)

環境部会

9月27日	新規募集竹林再生ボランティア説明会
11月2日	小泉川についての講演会
通年	竹林再生ボランティア

防災部会

8月3日	夏の防犯パトロール
10月27日	長五小校区総合防災訓練
3月下旬	避難所運営マニュアル (素案) 作成

福祉部会

8月4日	認知症ミニ講座&ウエルネスゲーム
11月21日	行方不明者捜索訓練・下校時に実施
2月16日	「健康寿命を延ばそう」勉強会：笑顔プラス事業所
3月	コロナウイルスのためグランドゴルフ大会中止

コミュニティ協議会本部

5月中旬	第1回理事会 (新型コロナのため文書で開催)
5月下旬	令和2年度総会 (同文書で開催)
7月下旬	(開催未定) 校区夏まつり (協力事業)
10月25日	長五小校区総合防災訓練
11月14日	長五小創立50周年記念行事
同上	第32回長五校区友好祭 (協力事業)
11月中	青推協「こども・若者育成支援協調月間」旗掲出
2月	地域の活性化に向けた意見交換会
3月下旬	理事会、幹事会
未定	コミュニティ自転車教室
年間	コミュニティニュース (年3回発行)
年間	子どもの交通事故防止推進 (8月・1月)

環境部会

通年	竹林再生ボランティア
未定	環境に係る勉強会

防災部会

8月1日	地域安全パトロール
10月25日	長五小校区総合防災訓練
11月	行方不明者捜索訓練 (福祉部会と合同)
2月	防災セミナー
未定	避難所運営マニュアル検討

福祉部会

11月	行方不明者捜索訓練 (防災部会と合同)
1月・2月	勉強会 (あいサポート運動・認知症予防)
3月	グランドゴルフ大会

令和 2 年度役員名簿

役 職	氏 名	所属団体等	役 職	氏 名	所属団体等
会 長	武内英彦	元下海印寺自治会長	幹 事	工藤有司	奥海印寺自治会長
副会長	多貝嘉人	地域推薦（奥海印寺地区）	//	湯川英廣	金ヶ原自治会長
//	湯川克己	地域推薦（金ヶ原地区）	//	湯川 均	浄土谷自治会長
//	笠松和美	福祉部会長	//	稲岡利春	太鼓山自治会長
//	伴野 貢	前地域コーディネーター	//	谷口雄一	こがねが丘自治会長
//	森田剛史	前こがねが丘自治会長	//	山本美津子	谷田自治会長
会 計	板山秀雄	元太鼓山自治会長	//	辻 修治	河陽が丘自治会長
事務局長	八田一雄	元下海印寺自治会長	//	嶺重 慎	高台西自治会長
理 事	菜島康男	元東山自治会長	//	高橋節夫	東山自治会長
//	野村育男	防災部会長	//	三原重徳	高台自治会長
//	山本啓司	地域推薦（下海印寺地区）	//	石橋克己	泉が丘自治会長
//	梅田 真	環境部会長	//	栗田直柁	地域推薦（美竹台地区）
//	中澤康行	下海印寺自治会長	//	柴田 悟	地域推薦（梅が丘地区）
//	山本 治	民生児童委員代表	//	伴野満男	地域推薦（森ノ下地区）
//	高橋満子	民生児童委員	//	多貝 茂	老人クラブ代表
//	結城正典	総合型地域スポーツクラブ会長	//	吉田 勝	人権擁護委員
//	湯川 悟	前少年補導委員会校区支部長	//	吉川純司	防犯委員五小校区幹事
//	金田英孝	元長四中PTA会長	//	藤岡浩子	地域推薦（梅が丘地区）
//	水戸 匠	元長五小育友会長	監 査	大木義文	長岡第四中学校長
//	中塚啓介	元長五小育友会副会長	//	藤川敬之	長岡第五小学校長
//	吉嶋章展	青年委員会代表	オブザーバー	吉岡祐一	きずなコーディネーター

令和元年度決算

令和 2 年度予算

【収 入】		単位:円	【支 出】		単位:円	【収 入】		単位:円	【支 出】		単位:円
市補助金	1,850,000		事務費	907,555		市補助金	1,850,000		事務費	1,270,000	
他補助金	315,000		事業費	813,471		他補助金	317,000		事業費	878,000	
協力金	38,000		協力金	85,000		協力金	40,000		協力金	85,000	
繰越金	33,128		会議費	13,800		繰越金	45,905		会議費	10,000	
雑収入	3		返還金	370,400		雑収入	95		予備費	10,000	
合 計	2,236,131		合 計	2,190,226		合 計	2,253,000		合 計	2,253,000	

次年度繰越金45,905



環境部会「竹林再生ボランティア」

平成元年度にボランティアの皆さんとがんばって整備した 2 箇所の竹林で、タケノコ掘りをしました。今年も多くさんのおいしいタケノコが取れました。



1 年間手入れしてきた河陽が丘の竹林で、タケノコ掘りを楽しみました。



新しくこがねが丘の竹林も手入れしました。除草し、不要な竹を切って整備し、春にはタケノコ掘りを楽しみました。



子どもの歓声が返ってきた西条公園

「新型コロナウイルス」禍により京都縦貫道下の下海印寺西条公園が、一時閉鎖になりました。この公園は、安全で自由に遊ぶので、大勢の子ども達が集まり人気のある公園でした。コロナにより遊べなくなってとても残念がっていました。現在は再び使用できるようになりました。

新型コロナウイルス感染症の知識

パンデミックは3年

パンデミックは新しいウイルスによる世界的規模の大流行のことで、これまで人類が戦ってきた感染症には、天然痘、結核、新型インフルエンザなどがあります。特に100年前の新型インフルエンザの「スペイン風邪」では、全世界で3分の1の人が感染し、



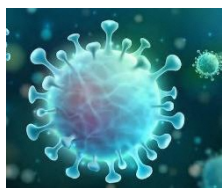
スペイン風邪を報じる当時の新聞

そのため第1次世界大戦の終戦が早まったとされます。日本でも人口の半分の2400万人が感染し、45万人の死者が出たとされます。

しかも1次感染が終わっても、2次3次と終息までに3年かかりました。今回の新型コロナウイルスもこの様相を呈してきています。

新型コロナウイルスは未知

新型コロナウイルスとはウイルスは私たちの周りに存在しますが、それが人に感染するように変異したものが新型です。これまでのウイルス感染では、人はそのウイルスに打ち勝ち抗体（免疫）を作ってきました。しかし新型では、だれも抗体をもっていないため急激に感染が広がります。それは病気が治り多くの人々が抗体を持つか、ワクチン（軽く感染させる）を開発できて各自に抗体ができるまで衰えません。新型であるため、そのウイルスの特性が不明で、有効な対策は分かっていません。



王冠に似ていることから、コロナと名付けられた

手洗いはしっかり

濃厚接触などで感染するウイルスが、手洗いだけで予防できるのかと疑う人もいます。

感染する順序は、感染者→咳により飛沫が空中へ→ドアノブなどに付着→3日間生きている→ドアノブを触る→手にウイルスが付く→その手で粘膜（目や鼻や口）を触る→感染するとされます。多少「風が吹けば桶屋が儲かる」的に見え、石鹸による手洗いやアルコールによる消毒が有効と思います。

マスクの効果は限定的

感染対策として公共の場ではほぼ100%の人が、マスクをしています。ガーゼや不織布のマスクで感染が防げると多くの人が思っていると思います。これはネット上の情報などをみてみますと、マスクは感染予防に効果がないとされています。感染予防にマスクは効果ないという指摘は、WHO（世界保健機関）でもなされています。

ウイルスに感染している人がマスクをすると、唾液はガーゼでブロックされる大きさなので、咳によりウイルスが飛散することは防げます。マスクで感染を防げる訳ではなく、感染予防には3密などの方法で感染者に濃厚接触しないことが必要です。

長岡でも感染者

現在長岡京市内での新型コロナウイルス感染者は9名で、その中には10歳未満の女子、濃厚接触での感染が含まれ、亡くなった人もいます。また近接の向日市や大山崎町でも感染者がでています。

3密防止が一番大切

コロナウイルスの伝染を防ぐ第一の方法は、3密を防ぐことです。3密とは、密閉、密集、密接を指し、「風通しの悪い空間」にしない、「多くの人々が密集している所」には行かない、「人と話すときは離れる」です。

もちろんその集団に感染者がいなければ、また3日以内に感染者が部屋を使っていなければ問題ありません。

しかしウイルスにより、感染しても発症していない人も考えられますので、パンデミックが終わるまで、感染を避けるには3密を守らなければなりません。

WHOは、感染を防ぐためには、咳やくしゃみをしている人から2メートル以上の距離を取ることを推奨しています。

また健康な人でも感染の疑いのある人を看病している場合や、自分自身が咳などの症状がある場合は、マスクが必要とされています。



密閉、密集、密接を防ぐことが感染予防の最大の方法です。